

平成 27 年度 秋期
IT ストラテジスト試験
午後 II 問題

試験時間

14:30 ~ 16:30 (2 時間)

注意事項

1. 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問 1 ~ 問 3
選択方法	1 問選択

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - (1) B 又は HB の黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
 - (2) 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入してください。
正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入してください。
 - (3) 選択した問題については、次の例に従って、選択欄の問題番号を○印で囲んでください。○印がない場合は、採点されません。2 問以上○印で囲んだ場合は、はじめの 1 問について採点します。

〔問 2 を選択した場合の例〕

選 択 欄	問 1	問 2	問 3
	1 問選択		

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”の記入方法（問１又は問２を選択した場合に記入）

論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要と，その構想，計画策定，システム開発などに，あなたがどのような立場・役割に関わったかについて記入してください。

質問項目①は，構想，計画策定，システム開発などの名称を記入してください。

質問項目②～⑯は，記入項目の中から該当する番号又は記号を○印で囲むとともに，（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものを全て○印で囲んでください。

“論述の対象とする製品又はシステムの概要”の記入方法（問３を選択した場合に記入）

論述の対象とする製品又はシステムの概要と，その製品又はシステム開発に，あなたがどのような立場・役割に関わったかについて記入してください。

質問項目①は，製品又はシステムの名称を記入してください。

質問項目②～⑭は，記入項目の中から該当する番号を○印で囲むとともに，（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものを全て○印で囲んでください。

問1 ITを活用したグローバルな事業について

近年、国内の少子高齢化と市場の成熟などによって、日本企業は国内の顧客だけでなく、海外の顧客も視野に入れ、グローバルに事業を拡大する必要に迫られている。また、既に海外で事業を展開している日本企業も、為替変動、新興国の市場拡大などに伴って、グローバルで見た最適なビジネスプロセスを模索し、事業戦略を策定した上で、改革を行っている。グローバルな事業戦略には、例えば次のようなものがある。

- ・金融機関の法人事業では、国内向けの金融サービス事業から、海外も含めた金融サービス事業へ、顧客を拡大する。
- ・アパレル企業では、これまで新興国で生産してグローバルに輸出していた SCM に、地産地消などの考え方を参考にして、生産国でも販売する。

IT ストラテジストは、IT を活用したグローバルな事業を実現する際に、事業戦略を踏まえ、改革すべき業務機能を見極め、その業務機能を実行する業務組織を定義した上で、業務フローなどを描き、新しい業務の全体像を定義する。また、それを支える IT の要件と主要な機能を整理した新システムの全体イメージを作成する。その際には、次のような観点で検討することが重要である。

- ・グローバルで一元的に行う業務と、各国で個別に行う業務の切り分け
- ・多通貨、多言語、日本と異なる法規制・商習慣、時差など

さらに、新しい業務の全体像と新システムの全体イメージを経営者に説明して、承認を得る必要がある。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった、IT を活用したグローバルな事業の概要と特性、事業戦略について、800 字以内で具体的に述べよ。

設問イ 設問アで述べた事業戦略を踏まえ、改革すべき業務機能、定義した業務組織と新しい業務の全体像、及び新システムの全体イメージについて、特に重要と考えて検討した内容とともに、800 字以上 1,600 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた新しい業務の全体像と新システムの全体イメージを、経営者にどのように説明し、経営者にどのように評価されたか。更に改善の余地があると考えている事項を含めて、600 字以上 1,200 字以内で具体的に述べよ。

問2 緊急性が高いシステム化要求に対応するための優先順位・スケジュールの策定について

企業は、厳しい競争に勝ち抜くために、新しいチャネルの開拓、市場に対応した組織編成、短いサイクルでの新製品・新サービスの開発などに取り組んでおり、情報システムの全体システム化計画で対象とした業務、組織、製品・サービスなどは変化し続けている。一方で、モバイルコンピューティング、クラウドコンピューティングなどの新しい IT の活用が広がり、それらが今までにない付加価値を生んだり、コスト削減を実現したりして、事業に貢献する事例が増加している。これらを背景に、情報システムの導入・改修に関して緊急性が高いシステム化要求が、事業部門から継続的に挙げられている。

緊急性が高いシステム化要求への対応に当たっては、まず、要求が事業戦略に適合することを確認し、システム化範囲を定め、要求をどのように実現すべきかを明確にする。次に、緊急性が高いシステム化要求への対応を、全体システム化計画の中でどのように位置付けるかを検討し、優先順位・スケジュールを策定する。その際、例えば次のような観点での検討が重要である。

- ・ 情報システム基盤の整備、アプリケーションシステムの統合、業務の見直しなどによって全体の投資削減又は相乗効果が期待できる場合、これらの実施を含めて検討する。
- ・ 計画中又は進行中の個々の情報システムの導入・改修への影響が最小限にとどまるように検討する。

IT ストラテジストは、緊急性が高いシステム化要求への対応に当たり、事業部門に対して、策定した優先順位・スケジュールによって、情報システムの導入・改修が全体システム化計画において最も効率的・効果的に進められることを説明し、承認を得なければならない。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが事業部門から受けた情報システムの導入・改修に関する緊急性が高いシステム化要求は何か。要求の背景、事業の特性とともに、800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた要求への対応に当たり、どのような観点で検討し、どのような優先順位・スケジュールを策定したか。特に重要と考えたことを明確にして、800 字以上 1,600 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた優先順位・スケジュールを事業部門にどのように説明し、その説明した内容に対して事業部門からどのような評価を受けたか。その評価を受けてあなたが改善したこと、又は今後、改善すべきことは何か。600 字以上 1,200 字以内で具体的に述べよ。

問3 多様な顧客要求に応えられる組込みシステムの製品企画について

組込みシステム製品（以下、製品という）には、多様な顧客要求に応えることが求められ、要求自体もますます複雑化する傾向にある。その一方で、競合他社との価格競争力に加えて、品質向上、高信頼性、短納期化なども必要とされる。組込みシステムの IT ストラテジストには、そのような潮流に柔軟に対応し、受注に結び付けられる製品を企画することが求められている。そのためには、まず、市場調査、技術動向調査などを実施し、多様な顧客要求及び製品化に伴う課題について検討する。次に、その結果を基に、課題に対する施策の提案を関連部署に依頼する。その後、提案された施策について、関連部署と協議し、製品企画を立案する。その際、初期投資予算、自社の強み、保有技術、体制、リリース時期、施策の優先順位などを考慮する必要がある。例えば、システムアーキテクト、エンベデッドシステムスペシャリストなどに対して、開発の効率向上などの施策の提案を依頼した場合、提案される施策としては、次のような項目が想定される。

- ・ 共通部の洗い出しによるプラットフォームの採用などの標準化の提案
- ・ 市場調査、技術動向調査を基にしたオプションの用意、機能のカスタマイズの提案
- ・ モジュール、ライブラリなどの資産の再利用による設計効率向上の提案

組込みシステムの IT ストラテジストは、提案された施策の妥当性を精査し、関連部署と協議しながら製品企画を立案し、施策の効果を製品リリース後に評価することが重要である。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった、多様な顧客要求に応えられる製品企画の概要について、製品企画に至った経緯、市場調査、技術動向調査などの結果を含め、800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた製品企画において検討した、多様な顧客要求と製品化に伴う課題の内容、それに対する関連部署から提案された施策の内容、及び関連部署と協議して立案した製品企画の内容と立案が決定に至った根拠を、800 字以上 1,600 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた、関連部署から提案された施策の内容の妥当性、立案内容の評価、及び製品リリース後の施策の効果とその評価を、600 字以上 1,200 字以内で具体的に述べよ。

〔 メ モ 用 紙 〕

〔 メ モ 用 紙 〕

6. 解答に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合は、評価を下げる場合があります。

(1) **問題文の趣旨に沿って解答してください。**

- (2) 解答欄は、“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”（問1又は問2を選択した場合に記入），“論述の対象とする製品又はシステムの概要”（問3を選択した場合に記入）と“本文”に分かれています。“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”，“論述の対象とする製品又はシステムの概要”は、2 ページの記入方法に従って、全項目について記入してください。

- (3) “本文”は、設問ごとに次の解答字数に従って、それぞれ指定された解答欄に記述してください。

・設問ア：800 字以内

・設問イ：**800 字以上** 1,600 字以内

・設問ウ：**600 字以上** 1,200 字以内

- (4) 解答は、丁寧な字ではっきりと書いてください。

7. 退室可能時間に途中で退室する場合には、手を挙げて監督員に合図し、答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間	15:10 ～ 16:20
--------	---------------

8. **問題に関する質問にはお答えできません。** 文意どおり解釈してください。

9. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。

10. 試験時間中、机上に置けるものは、次のものに限ります。

なお、会場での貸出しは行っていない。

受験票，黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB），鉛筆削り，消しゴム，定規，時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可），ハンカチ，ポケットティッシュ，目薬

これら以外は机上に置けません。使用もできません。

11. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。

12. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。

13. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。
なお、試験問題では、™ 及び ® を明記していません。

©2015 独立行政法人情報処理推進機構